

「環境報告書 2023」を公開 ～複数の開示フレームワーク（TCFD・TNFD 案）を統合した キリングループの環境経営情報を開示～

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典）は、2023年7月28日（金）に「環境報告書 2023」
https://www.kirinholdings.com/jp/investors/library/env_report/を公開しました。

【本年の主な開示概要】

■ 複数の開示フレームワーク（TCFD^{※1}・TNFD^{※2} 案）に基づいた統合的な環境経営情報

従来、単独で開示してきた TCFD フレームワークに基づく開示に TNFD フレームワーク案を組み込み、循環型社会構築への貢献なども可能な範囲で組み込んで、個別ではなく統合された形でのキリングループの環境経営情報の開示を試行しました。

■ GHG 排出量削減・投資計画・資金調達計画を連動させた気候変動の移行計画

気候変動に対する移行計画で、「キリングループ環境ビジョン 2050」で掲げる“2050 年までにバリューチェーン全体の GHG 排出量をネットゼロにする”という目標実現のための施策と必要な投資額、資金調達計画を、その関係性が分かる形で開示しました。主なグループ会社ごとの GHG 排出量削減と、目標達成に必要な施策・投資額も開示しています。

■ スリランカの紅茶農園にフォーカスした Locate（自然との接点を発見する）、Evaluate（依存関係と影響を分析する）の詳細分析

世界に先駆けて「環境報告書 2022」で開示した TNFD が提唱する「LEAP アプローチ」による自然資本^{※3}の開示を踏まえて、自然資本の「事業・製品グループ毎の依存度・影響度の評価」を、ENCORE^{※4}を利用して網羅的に評価しました。その上で、約 10 年にわたるレインフォレスト・アライアンス認証取得支援を通じた知見と現地とのエンゲージメントがあるスリランカの紅茶農園を対象を絞って、「LEAP アプローチ」の Locate（自然との接点を発見する）、Evaluate（依存関係と影響を分析する）の詳細分析を行った結果を開示しました。

■ TNFD からの参加依頼を受け、New Belgium Brewing（アメリカ コロラド州）で実施した、TNFD フレームワークβ版 v0.4（2023 年 3 月公開）で行ったシナリオ分析のパイロットテストの参加概要

2023 年 3 月に、TNFD からの参加要請を受けてアメリカのコロラド州フォートコリンズにある New Belgium Brewing において実施したシナリオ分析のパイロットテストの結果を開示しています。2022 年 11 月に公開された TNFD フレームワークβ版 v0.3 の中に含まれていたシナリオ分析に関する「ディスカッションペーパー」の実践性の検証を目的として世界で 4 社だけが参加要請されたもので、実施結果は 2023 年 3 月に公開された TNFD フレームワークβ版 v0.4^{※5} の中でも紹介されています。

※1 The Task Force on Climate-related Financial Disclosures の略

※2 Taskforce on Nature-related Financial Disclosures の略。企業などが自然に関連したリスク情報開示を行い、2030 年までに自然の減少を食い止め回復軌道を目指す Nature Positive をもたらすよう資金の流れが転換されることを目指し、情報開示を行うためのフレームワークの開発、提供を目指す国際的な組織

※3 自然資本とは、再生可能及び非再生可能資源や生態系サービスのフローを社会に供給する自然資産のストック

※4 ENCORE（Exploring Natural Capital Opportunities, Risks and Exposure の略。TNFD フレームワークβ版の中で、生態系サービスの評価に活用できるとして紹介されているツール

※5 TNFD Beta v0.4 Annex 4.10 Additional guidance on scenario analysis

https://framework.tnfd.global/wp-content/uploads/2023/03/23-23882-TNFD_v0.4_Annex_4.10_v5-2.pdf

今後もキリングループは、複合的に発生し相互に関連する環境課題（生物資源・水資源・容器包装・気候変動）に統合的に取り組み、豊かな地球の恵みを将来にわたって享受し引き継ぎたいという思いをバリューチェーンに関わるすべての人々とともにつなぐべく、自然と人に「ポジティブインパクト」を与えるさまざまな取り組みを積極的に進めていきます。

<参考>

・キリングroup「環境報告書 2023」

https://www.kirinholdings.com/jp/investors/library/env_report/

・「キリングroup持続可能な生物資源利用行動計画」改訂

https://www.kirinholdings.com/jp/newsroom/release/2021/0903_02.html

・「キリングroup環境ビジョン 2050」

<https://www.kirinholdings.com/jp/impact/env/mission/>

(お客様お問い合わせ先)

キリンホールディングス株式会社 お客様相談室 (フリーダイヤル) 0120-770-502

企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/>